

γ-GTP				360000	
γ-GTP				担当部署	
				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		新生児は成人より高値であり、成人は加齢とともに軽度上昇する。妊婦では妊娠後半期に低値を示す。 また、飲酒歴ならびに薬物服用歴などが大きく影響する。			
検査受付時間		緊急対応(24 時間)			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			

検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		M:13-64U/L F:9-32U/L 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲			
臨床判断値		設定なし			
基準値				単位	U/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	13	64	9	32
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γGT)は、腎、膵、肝、胆、脾、小腸、脳、心筋などに分布するが、特に腎で最も高く、肝での活性は低い。 血清γGT は主に肝由来である。 肝細胞の機能異常、特に胆汁分泌異常とミクロソーム機能異常の場合に上昇する。 日本臨床第 7 版 13,2009			